



令和8年度 宮前区地域デザイン会議資料

テーマ:「**ア**ー**ト**で**つ**な**が**る**る**宮前区」



令和8年7月1日
宮前区役所

地域デザイン会議とは？

- **地域デザイン会議**は、区民の方々に「**区における行政への参加**」の機会を広げ、多様な意見をいただきながら、**地域課題の解決につなげていく**ための取組
- 「**区民会議**」に替わる**新しい参加の場**として、**令和3～5年度**まで**試行実施**を踏まえ**令和6年度**から**本格実施**
- **令和3・4年度**は「**公共施設の地域化**」、**令和5年度**は「**公園の落ち葉の活用**」、**令和6年度**は「**前向きな終活を地域の人々で考える**」、**令和7年度**は「**アートでつながる宮前区**」をテーマに意見交換を実施

＜機能によるイメージ＞

平成18年度～平成30年度

区民会議

【附属機関】

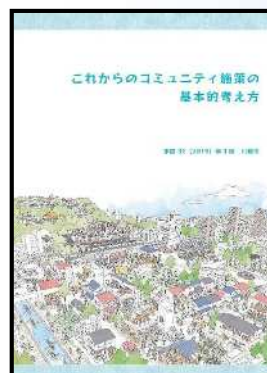
2つの機能

・「区における行政への参加」

・「参加と協働による地域課題の解決」

「区における行政への参加」の機能
(意見交換・議論し、実践する場)

「これからのコミュニティ施策の基本的な考え方」
(平成31年3月策定)



社会が複雑化する将来に、自分らしく、**幸せに暮らせる地域社会の実現**を目指せるよう、川崎市としての考えをまとめたもの。

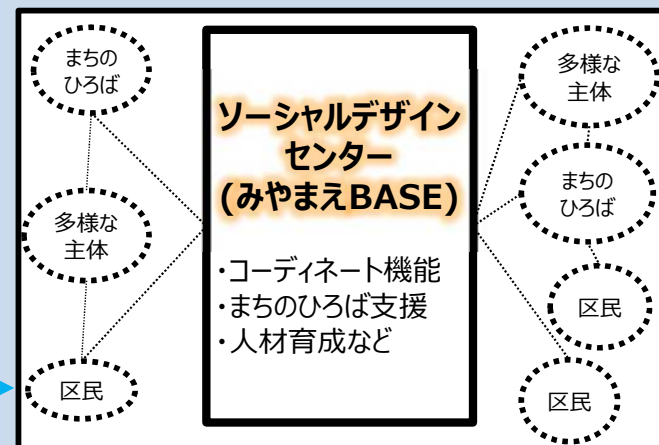
「参加と協働による地域課題の解決」の機能
(実践の場)

○行政 試行期間（令和3～5年度）を経て
令和6年度から本格実施

地域デザイン会議

連携

○地域コミュニティ 令和5年5月～
(区域・地域レベルの「新たなしくみ」)



(1)本日のテーマ・目的等について

(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等

(3)市の施策の紹介

(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介

(5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性

(6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け

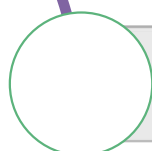
(7)今後の予定



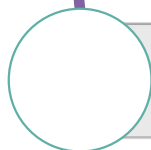
(1)本日のテーマ・目的等について



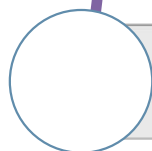
(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等



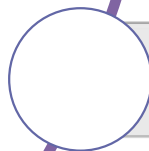
(3)市の施策の紹介



(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介



(5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性



(6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け



(7)今後の予定

- 昨年度の地域デザイン会議や市長が市民の皆様と直接対話をする車座集会では、宮前区の現状（アーティストとして活動している区民が多い一方、こうした活動や作品を発表する場所が少ない）を踏まえ、アートの魅力や可能性、アートの展示する場所の可能性、アートをマッチングする仕組みなどについて議論を行いました。
- 今年度は、川崎市として、様々な社会課題の解決に向け、誰もが文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に取り組んでいることや、これまで宮前区が区民と協働して取り組んできた事例なども踏まえ、アートを通じて人や地域がつながるまちの実現に向けて、アートが生み出す「つながり」の価値と可能性、アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛けの観点で議論を行いたいと考えております。
- 今年度の地域デザイン会議は、限られた時間内でより多くのアイデアをいただきたいため、グループディスカッション形式とさせていただきました。皆様からの忌憚のない御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(1)本日のテーマ・目的等について



(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等

(3)市の施策の紹介

(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介

(5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性

(6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け

(7)今後の予定

- 令和7年5月26日に地域デザイン会議を開催し、アートの魅力や可能性、アートを展示する場所の可能性について議論し、参加者からは様々な意見が出されました。

1 日程 5月26日（火）13時～15時

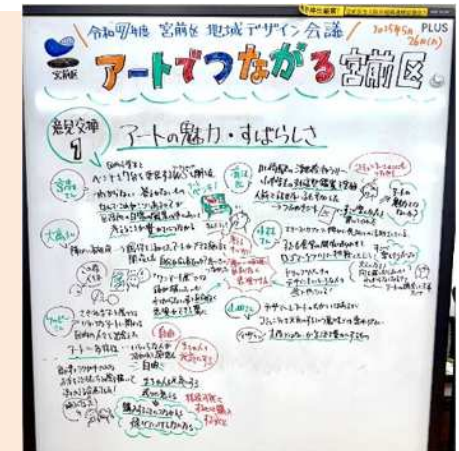
2 内容

- （1）アートでつながる宮前区をテーマとした理由等
- （2）区民のアートの取組事例の紹介
- （3）【意見交換①】 アートの魅力・すばらしさ
- （4）【意見交換②】 アートの可能性
- （5）【意見交換③】アートを展示する場所の可能性
- （6）今後の予定



【意見交換①】『アートの魅力・すばらしさ』

- ✓ アートには正解がない、答えがないもの。コミュニケーションのきっかけにもなることで、心の豊かさにもつながる。
- ✓ 人前で話すことが苦手な子どもでも、アートを感じて自分の思いを表現し、コミュニケーションすることができた。
- ✓ アートの取組はまちを元気にする力を持っている
- ✓ アートは、老若男女を問わずみんなが楽しめるきっかけになるもの
- ✓ アートは、多様性そのものであり、様々な可能性を秘めている

【意見交換②】『アートの可能性（アート×〇〇）』

- ✓ アート×公園（対話型鑑賞）
- ✓ アート×お寺（歴史ウォーキングでの発見）
- ✓ アート×ケア（聖マリ院内学級ワークショップ、子どもたちが絵を描くことの楽しさを実感）
- ✓ アート×観光（ことラーの人達のサポートを得てのアート解説）

【意見交換③】『アートを展示する場所の可能性』

- ✓ 階段など使われていないスペースの有効活用（企業へのアプローチの可能性）
- ✓ 継続的に実施するには、コストを掛けないで既存のものを活かすという発想が大事
- ✓ まずは「展示したい人」と「展示に協力してくれる場所」をマッチングする仕組みづくりが必要



- 地域デザイン会議における議論を踏まえ、アートを展示する場所として、区役所等の公共施設の活用をきっかけに、区内の民間施設に広げるなど、アーティストの活動の場の確保と区民がアートに触れる機会を増やしていくことをめざして議論を行いました。

1 日程 9月6日（火）10時～12時

2 内容

- （1）アートに関する区の取組や地域デザイン会議の議論を共有
- （2）【意見交換①】
アートの可能性（アート×〇〇）のアイデア出し
- （3）【意見交換②】
アートをマッチングする仕組みづくりについて



主な意見

アートの可能性のアイデア出し
意見交換①

- 無機質な場所の中で異彩を放つものがあることでアートを考えるきっかけになる。
- 作品制作の過程に触れる環境が日常の中にあることで、作品を見た人が親近感やクリエイティブマインドを持てるようになる。
- 日常の中にある公園、通勤路などを展示・ワークショップの場所として活用できないだろうか。
- 公園を活用することで「私たちの公園」として愛着を持ってもらうことができる可能性がある。

アートをマッチングする仕組み
意見交換②

- 仕組みだけが先行しても形骸化してしまうため、ストーリーや共感を重視したマッチングが必要。
- SNSを活用し、作品・展示場所それぞれのプロセスやストーリーを伝えていくことで共感を生み、アートに親しみを覚えてもらえるのではないかな。
- マッチングだけではなく、アートに関わってくれる人を掘り起こすことも同時に行う必要がある。
- 区内でアートに関連する取組(「点」)を増やし、それらを「線」でつなぎ、最終的に「面」となるような広がりが生まれると良い。

まとめ

✓ **【日常の中でのアート】**

アートを無機質な場所や日常の中に取り入れることで(「既存の〇〇」+アート)、アートに触れるきっかけとなり、ポジティブな気持ちや心の豊かさが育まれる。

✓ **【まちを舞台にしたアート】**

公園や通勤路などまちの中で展示やワークショップを行うことで「私たちの〇〇」となり、地域への愛着や興味を持つきっかけとなりうる。

✓ **【ストーリー・共感を重視したマッチング】**

SNS等を活用し、作品・展示場所それぞれのストーリーを伝えていくことで共感を生み出し、仕組みが形骸化してしまうことを防ぐ。

✓ **【点から線へ、線から面へ】**

各地でアートに関わる人を掘り起こすような取組(「点」)を増やし、SNSや情報共有の場を活用しながら「線」でつなぐ取組を広げていくことで、「面」である「アートでつながる宮前区」の実現につながる。

方向性

アートに関連した取組（点）を区内に増やし、その取組をつなぐ（線にする）ことで、アートの力を活かしながら、区の魅力発信や課題解決につなげる

短期的な取組（R7～8）

点を増やす取組

- **アートに関連したワークショップ等の開催**
⇒ ことラー等と連携し、アートに触れる機会を作り、クリエイティブマインドを醸成
- **区役所等の公共施設や民間施設を活用したアート作品の展示**
⇒ 今年度実施の「宮前区役所つながる美術館」をモデルに、公共施設をアート作品を展示する場として活用するとともに、民間施設にも広めていく流れを作っていく
- **日常の公園にアートの要素を入れた取組の検討**
⇒ 地域の方や地元のアーティスト等に参加してもらいながら、日常の公園の中にアートの要素を入れ込でいくことで、画一的な公園から「私たちの公園」として愛着を持てもらえるような仕掛けづくりを行っていく



Keppyさんのライブペイント

点を線にする取組

- **LoGoフォームを活用したアート作品展示のマッチングシステムの試行実施**
⇒ LoGoフォームを活用して、プロアマ問わず展示したい作品を募集し、その作品をオンライン上の美術館として公開して、展示したい店舗等があればそのまま申し込みできる（マッチング）システムを試行的に実施
- **宮前区ソーシャルデザインセンター（SDC）「みやまえBASE」の場を活用したマッチングの実施**
⇒ アートに関する取組や活動できる場所などの情報を共有するなど、SDCを活用したマッチングを実施
- **SNSなどを活用したアートな取組等の情報発信**
⇒ アートの取組や区の魅力などの情報をSNS等で発信していただける区民を公募し、SNS等を通じてそれぞれ想い（ストーリー）を伝え、共感を生み出すことで、新たな人のつながりが生まれるきっかけをつくる

中長期的な取組（R8～）

- **アートの取組（点）を線としてつなぎ、区内に面として広げていく**
⇒ 引き続き、地域デザイン会議や車座集会で議論を重ね、ART FOR ALLの取組等とも連携しながら、アートに関する様々な人を巻き込み、アートの取組（点）を線としてつなぎ、面へと広げていく仕組みについて検討していく

様々な人を巻き込み、「アートでつながる宮前区」をめざす

(1)本日のテーマ・目的等について

(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等

✓ (3)市の施策の紹介

(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介

(5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性

(6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け

(7)今後の予定

- 川崎市が取り組んでいる市の施策について紹介（資料4）

発表者

市民文化局市民文化振興室 藤原正弘担当係長

(1)本日のテーマ・目的等について

(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等

(3)市の施策の紹介



(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介

(5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性

(6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け

(7)今後の予定

宮前区役所市民広場への100周年を記念したベンチの設置

- 憩いの場として利用されている区役所市民広場のベンチを、市制100周年記念として令和6年8月にリニューアルしました。リニューアルにあたっては、地元アーティストの京森康平さんに協力いただきワークショップを開催して、区役所近隣の小学校の児童にアート体験をしてもらいながら製作しました。



↑元々市民広場にあったベンチ



↑地元の小学生とアーティストが共同で装飾

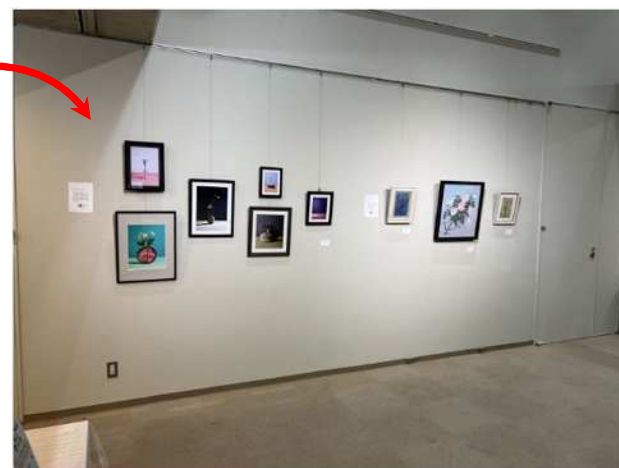
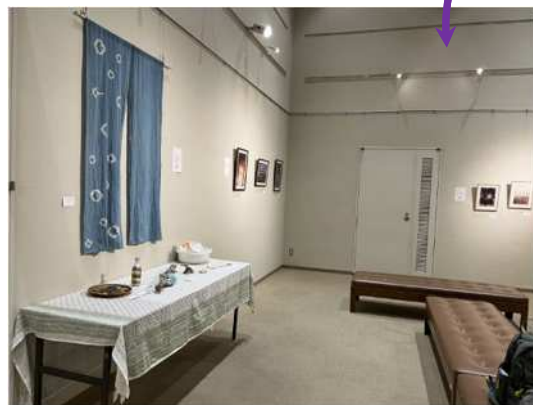


✓ アーティストと小学生のつながりづくり

✓ アートを通じた地域への愛着づくり

宮前区ソーシャルデザインセンター「みやまえBASE」の場を活用した作品展示会の実施

- 「みやまえBASE」スピンオフ企画として、令和8年1月16日から21日まで宮前市民館にて、区内在住作家ら52名による作品を展示し、延べ約600人の方が来場しました。



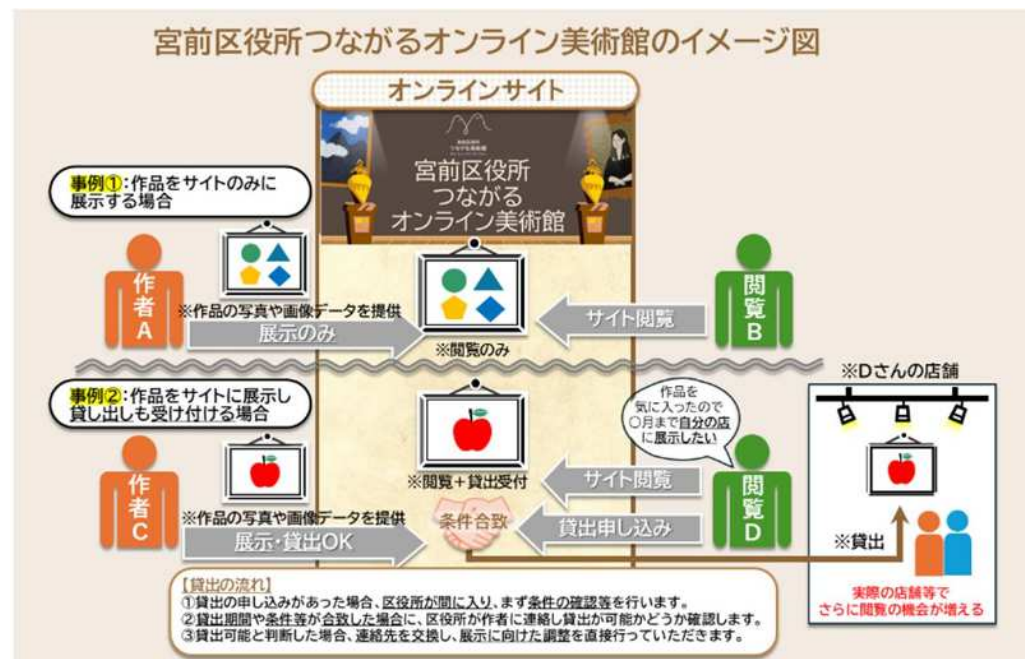
- ✓ みやまえBASEのメンバーが企画から参加
- ✓ アートを通じて区民のつながる機会の創出

宮前区役所つながるオンライン美術館の開設(令和8年3月OPEN!)

- プロ・アマ問わず個人が作成したアート作品をオンライン上で展示中。作品の閲覧だけでなく、店舗などで展示したい作品の貸出も可能。



68作品を公開中



- ✓ アートの発表の場の確保
- ✓ 区民がアートに触れる機会の創出

私たちのまちなか美術館(令和8年8月25日～11月29日開催予定)

- 区が実施する市民提案型総合情報発信事業として、区内の団体と協働し、宮前区役所から区内の施設や店舗に展示場所を広げ、区民が気軽にアートに触れられる環境を作ります。



(B)映画と光のアート 私たちのまちなか 美術館 公園編

公園が大人と子供の遊び場に。ベンチを子供達とアートで彩ったり、木にアート作品を展示したり、音楽ライブがあったり。



(A)区民が撮るムービー大会

宮前の魅力を伝えるテーマ

区民から90秒動画を募る
(テーマ5つ・農業・つながる・自由テーマ・他)

Instagramに全作品投稿
区民による投票

審査員による選定
発表・オムニバス動画制作

(B)私たちのまちなか美術館

オンライン美術館との連携

公園を1日使い倒すアートイベントと映画・街中のカフェや企業・愛児園(児童養護施設)とコラボして場所を借りてアート展示
市民ミュージアムや浮世絵ギャラリーとのコラボ

キッチンカーを何台か設置
白幡台第一公園にて
映画上映・アート展示・カフェ

プロジェクションマッピングや、場所のレンタルは民間支援の拡充と合わせて拡張する仕組みとなる。

(C)さまざまな企画

ライブペイント・プロジェクト
ジョンマッピング・ワークショップ・その他企画

- ✓ 区民がアートに触れる機会の創出
- ✓ 公園を舞台に地域と子供達のつながりづくり

(1)本日のテーマ・目的等について

(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等

(3)市の施策の紹介

(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介

✓ (5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性

(6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け

(7)今後の予定

ここでは、アートが生み出す「つながり」に着目し、その価値と可能性について意見交換したいと思います。皆様には、これまでのアートに関する御自身の経験などから、次の観点で御発言いただけると幸いです。

- アートを通じてどういう場面でつながりを実感することができたか
- 人と人、地域とのつながりが生まれたエピソード
- なぜアートだとつながりが生まれるのか
- アートでつながることで、どのような場面（地域・福祉・教育・観光など）で、どのような主体（子ども、高齢者など）に効果的か

最後に各グループごとにファシリテーターが意見のまとめ・講評を行います。



(1)本日のテーマ・目的等について

(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等

(3)市の施策の紹介

(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介

(5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性

✓ (6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け

(7)今後の予定

ここでは、アートが生み出す「つながり」の価値を踏まえて、この「つながり」を広げていくための取組や仕掛け（アクション）について意見交換したいと思います。皆様には、次の観点で御発言いただけると幸いです。

- アートの「つながり」の価値を最大限生かすための活動や場面
- どういう工夫があれば、人や地域を巻き込んでいくことができるか
- 関わった人が、次の人、別の場所につなげていくための仕組みや工夫
- アートへの関心の有無に関わらず、区民が身近にアートやアートの「つながり」を実感できるための工夫

最後に各グループごとにファシリテーターが意見のまとめ・講評を行います。



(1)本日のテーマ・目的等について

(2)令和7年度地域デザイン会議・車座集会振り返り等

(3)市の施策の紹介

(4)アートを通じたつながりづくりの事例紹介

(5)【意見交換①】アートが生み出す「つながり」の価値と可能性

(6)【意見交換②】アートの「つながり」を広げるための取組・仕掛け

✓ (7)今後の予定

- 本日の会議等を踏まえて、令和8年10月31日(土)14時～16時(予定)にアートでつながる宮前区をテーマで、市長が市民の皆様と直接対話をする「車座集会」を開催します。
- アートを通じて人や地域がつながるまちの実現に向けて、本日の議論も踏まえ、より掘り下げた意見交換等を行いたいと考えています。

アートを通じたつながり
づくりに向けて
意見交換しよう！

